

しょう4 こくご「詩・短歌を 読む」 その1

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 はいく こ しち ご おん ぜんぶ なんおん
俳句は 五・七・五の 音で できています。全部で 何音？

こたえ _____

2 し よ
詩を 読むとき して よいのは？

ア えがかれた 場面や 気持ちを 想像する イ 早口で 読み流す ウ 音の 数だけ 数える

エ いみ かんが
意味を 考えない こたえ _____

3 たんか おん なら ご しち しち しち はい かず
短歌の 音の 並びは「五・七・□・七・七」。□に 入る数は？

こたえ _____

4 つぎ なつ あらわ きご
次のうち、夏を 表す 季語は？

ア ゆき 雪だるま イ こたつ ウ もみじ エ せみ こたえ _____

5 し ひと ひと ぎょう なん
詩の 一つ一つの 行を 何という？

ア だん 段 イ しょう 章 ウ ぎょう 行(ぎょう) エ れん 連 こたえ _____

6 し おな ことば かえ こうか
詩で 同じ言葉を くり返すと、どんな 効果がある？

ア う りんしょう つよ
リズムが 生まれ、印象が 強くなる イ いみ 意味が なくなる ウ じすう へ 字数が 減る

エ よ
読めなく なる こたえ _____

7 し たんか ほうほう
詩や 短歌を あじわう よい 方法は？

ア はやくち よ
早口で 読む イ いみ かんが よ
意味を 考えず 読む ウ かす かぞ
数だけ 数える

エ ばめん こころ う
えがかれた 場面を 心に 浮かべる こたえ _____

8 はいく おん なら しち ご はい かず
俳句の 音の 並びは「□・七・五」。□に 入る数は？

こたえ _____

9 ご しち ご おん つく きご い みじか し
五・七・五の 17音で 作り、季語を 入れる 短い 詩は？

ア さくぶん 作文 イ たんか 短歌 ウ ものがたり 物語 エ はいく 俳句 こたえ _____

10 詩を 作るつくとき、まず 大切なたいせつのは？

ア むずかしい 漢字かんじを 使うつか イ 他人たにんの 詩しを 写すうつ ウ 心こころが 動いたうごことを よく 思い出すおも だ

エ とにかく 長く 書くなが か こたえ _____

11 「風が 歌う」のように、人でないものを 人のように 表す方法あらわ ほうほうは？

ア ぎ人法じんぼう イ 五十音ごじゅうおん ウ たとえ(比喩)ひゆ エ 要約ようやく こたえ _____

12 次のうち、たとえ(比喩)は どれ？

ア 手が 冷たいて つめ イ 白い 手を 洗うしろ て あら ウ 雪のように 白い 手ゆき しろ て エ 手をつなぐて こたえ _____

13 詩を 読むとき 大切なたいせつのは？

ア 作者さくしゃの 感動かんどうや 思いおもを 想像そうぞうすること イ 意味いみを 考えないかんが ウ 字じの 数だけ 数えるかず かぞ

エ 早く 読み終えるはや よ お こたえ _____

14 詩の 響きを 味わうには？

ア 声こえに 出して 読むだ よ イ 見ないで 当てるみ あ ウ 目で 数字すうじを 数えるかぞ エ さかさに 読むよ

こたえ _____

15 短歌は 五・七・五・七・七の 音で できています。全部で 何音？

こたえ _____

16 詩で 行を かえるのには？

ア 字じを 大きくする ためおお イ 紙かみを 節約する 意味だけせつやく いみ

ウ 意味いみの 切れ目き めや リズムを 分かりやすくする 意味があるわ いみ エ 絵えを 隠す ためかく

こたえ _____

17 詩を 読んで、頭あたまの 中なかに えがく 景色や 様子けしき ようすを 何なんという？

ア 季語きごの 数かず イ 作者さくしゃの 住所じゅうしょ ウ ページ番号ばんごう エ イメージ(思おもいうかべた 様子ようす)

こたえ _____

18 詩で、いくつかの 行ぎょうが 集まった まとまりを 何なんという？

ア 章しょう イ 行ぎょう ウ 連れん エ 文ぶん こたえ _____

19 ^{たいげん と}体言止めを ^{つか}使うと、どんな ^{こうか}効果がある？

ア ^よ読めなく なる **イ** その ^{ことば}言葉が ^{つよ}強く ^{こころ}心に ^{のこ}残る **ウ** ^{おと}音が ^へ減る **エ** ^{いみ}意味が なくなる

こたえ _____

20 ^{はいく}俳句と ^{たんか}短歌の ^{ちが}違いは？

ア どちらも ^{おん}17音 **イ** 俳句は ^{はいく}17音、短歌は ^{おん}31音 **ウ** どちらも ^{おん}31音 **エ** 俳句の ^{はいく}ほうが ^{なが}長い

こたえ _____

こたえ しょう4 こくご「詩・短歌を読む」 その1

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1 17 | 12 ウ 雪のように 白い手 |
| 2 ア えがかれた 場面や 気持ちを 想像する | 13 ア 作者の 感動や 思いを 想像すること |
| 3 5 | 14 ア 声に 出して 読む |
| 4 エ せみ | 15 31 |
| 5 ウ 行(ぎょう) | 16 ウ 意味の 切れ目や リズムを 分かりやすくする
意味がある |
| 6 ア リズムが 生まれ、印象が 強くなる | 17 エ イメージ(思いうかべた 様子) |
| 7 エ えがかれた 場면을 心に 浮かべる | 18 ウ 連 |
| 8 5 | 19 イ その 言葉が 強く 心に 残る |
| 9 エ 俳句 | 20 イ 俳句は 17音、短歌は 31音 |
| 10 ウ 心が 動いたことを よく 思い出す | |
| 11 ア ぎ人法 | |